

# 内分泌科 後期研修プログラム

## 1. 診療科の特色

対象疾患：糖尿病

：高脂血症

：下垂体・甲状腺・副甲状腺・副腎・性腺機能低下症・神経内分泌腫瘍など

糖尿病も内分泌疾患も専門的に診療できる西三河の中核施設としての役割を果たしている。

内分泌代謝専門医の養成機関としての役割も担っている。

地域の診療所や職域（産業医）との連携で多くの糖尿病症例がある。

内分泌疾患も症例が集まる施設であり、広く内分泌疾患も経験できる。

地域医療連携・予防医療連携にも尽力しており、地域的視野にたったの活動をしている。

内分泌科科部長は NST(栄養サポートチーム)のリーダーでもあり、栄養関連の研修も可能。

糖尿病・メタボリックシンドロームなどを中心的に扱うため、CDE（糖尿病療養指導士）

や NST 専門療法士など指導ができるメディカルスタッフのとの協力を重視しておりチーム

医療の実践ができる。

## 2. 研修期間

後期研修 3 年間

必要なら 1 年目に他の内科専門科の研修も可能

## 3. 目標

### 一般目標（GIO）

患者様のための質の高い診療提供ができ、地域の中での中核的な役割が担えるような内科専門医さらに日本内分泌学会認定内分泌代謝科専門医になるために、内分泌代謝疾患の診断・治療・管理維持ができる実践能力を身につける。

### 行動目標（SBOs）

- 1 年目： 上級医の指導のもとに担当医として入院診療を行う。  
甲状腺疾患は主に外来患者のエコー・細胞診を通して研修する。
  - 2・3 年目： 入院診療は主担当医として中心的に診断・治療を行う。  
外来も自分で判断して対応できるレベルで診療にあたる。
- 全期間を通じ学会活動など対外的に積極的な研鑽をする。

## 4. 方略

### 1. 診療

入院診療を主体に研修する。常に上級医に相談しながらも主体的に診療する。

外来は 1 年目は週に 1 回まで、2 年目以降は週に 2-3 回程度担当

### 2. 教育・週間スケジュール

甲状腺エコー・細胞診	月曜日 14:00-16:30
内分泌科カンファレンス	月曜日 19:00-21:00
糖尿病入院集団指導（医師担当日）	木曜日 10:00-10:30
内科会	毎月第2・最終火曜日 18:30-19:30
勉強会	適宜

### 3. 学術活動

学会・研究会には積極的に参加して研鑽する。

学会発表を少なくとも年に2回は行う。

2年目以降は全国レベルの学会での発表を経験する。

学会以外の地域や県レベルの研究会でも毎年1件以上の発表・講演を行う。

### 5. 評価

日常診療での指導医とのコミュニケーションや内分泌カンファレンス等を通して評価する。

研究会・学会活動内容で研鑽の進捗状況を評価する。